

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

レビュー項目 (事業名)	民間活力を活用した職場の健康づくり支援 (職場の健康づくり環境整備事業)				部(局)	保健医療部
					所管課	健康増進課
					担当班	健康政策班
					連絡先	078-362-9127
開始年度	平成22年度	終了年度	-	関連計画等		
事業区分	<input type="checkbox"/> 国補助事業 <input checked="" type="checkbox"/> 県単独事業					
実施方法	<input type="checkbox"/> 直執行 <input type="checkbox"/> 委託 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他( )				実施主体等	健康づくりチャレンジ企業
事業目的	働き盛り世代の県民の健康づくりの場づくりを支援するため、従業員の健康づくりに取り組む「健康づくりチャレンジ企業」が実施する健康づくり機器等の整備に対して、一定額を補助する。					
事業概要	健康づくりチャレンジ企業に登録している企業等を対象に健康づくり機器や健康状態測定機器の購入に係る費用を補助する。 健康づくり機器：ダンベル、ルームランナー、ぶら下がり健康器等の3万円以下のエクササイズ用品 健康状態測定機器：血圧計、体組成計等、運動習慣による数値の改善が測定できる機器、運動時に携帯して自身の健康状態を確認する機器					
これまでの改善状況	事業開始当初(H22)：中小事業者で構成された福利厚生を行う法人を対象に、運動施設整備や施設改修に対する補助事業としてスタート 事業内容拡充(H29)：補助内容に健康状態測定機器購入に係る補助を追加 事業内容変更(H30)：補助実績を踏まえて、補助内容を健康づくり機器及び健康状態測定機器購入に係る補助のみに変更					
業務フロー	申請(事業者) → 受付・審査(県) → 交付(県)					

区 分		2年度決算額	3年度決算額	4年度当初予算額	5年度当初予算額	
事業に要するコスト	事業費①	4,318千円	2,532千円	6,000千円	6,000千円	
	経費内訳	報酬・賃金				
		委託料				
		補助金・交付金	4,318千円	2,532千円	6,000千円	6,000千円
		貸付金				
		その他				
	(財源内訳)	(国庫)				
		(特定)法人県民税超過課税	(4,318千円)	(2,532千円)	(6,000千円)	(6,000千円)
		(起債)				
		(一般財源)				
予算額② ※精算補正前の予算を記載		10,000千円	6,000千円	6,000千円	6,000千円	
執行率((①/②)×100)		43.2%	42.2%	100.0%	100.0%	
人件費③ (a+b+c)		従事人員 0.2人	従事人員 0.2人	従事人員 0.2人	従事人員 0.2人	
		1,660千円	1,644千円	1,724千円	1,723千円	
職員給与費 a	1,438千円	1,420千円	1,502千円	1,499千円		
賞与引当金繰入額 b	116千円	114千円	116千円	114千円		
退職手当引当金繰入額 c	106千円	110千円	106千円	110千円		
総コスト(①+③)		5,978千円	4,176千円	7,724千円	7,723千円	

ひょうご事業改善レビューシート

様式 1

評価	指標名	区分	2年度実績	3年度実績	4年度見込	5年度目標	最終目標【年度】
	評価	成果指標(アウトカム指標①) 日常生活の中で体を動かすことを実行していない人の割合の減少 (健康づくり推進実施計画) ※県の健康づくり実態調査による実績把握(次回R10実施)	目標	-	-	40.5%以下	-
実績(見込)			-	-	41.9%	-	【R10年度】
(単位当たりコスト)							
[うち事業拡大分]							
成果指標(アウトカム指標②)		目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
成果指標(アウトカム指標③)		目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
指標	活動指標(アウトプット指標①) 健康づくりの場づくり等に対する支援件数 (地域創生戦略事業進捗指標(事業KPI))	目標	10	20	20	20	20
		実績(見込)	22	25	(20)	(20)	【各年度】
		(単位当たりコスト)	(272千円)	(167千円)	(386千円)	(386千円)	
		達成率(見込)	220.0%	125.0%	(100.0%)	(100.0%)	
	活動指標(アウトプット指標②)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
	活動指標(アウトプット指標③)	目標					
		実績(見込)					
		(単位当たりコスト)					
		達成率(見込)					
目標	終期設定	有 ( )					無
	改善基準						
自己評価	評価の視点		評価		目標に対する達成状況(総合的評価)		
	○有効性(評価指標に対する実績) ・県民ニーズを的確に踏まえた事業か ・民間での事業実施は見込めない事業か ・指標・目標設定は適切か ・活動実績は十分か ・想定された成果を達成しているか など		事業所によっては補助額が低額となっており、予算執行率としては4割程度で推移しているが、補助した件数としては目標値を上回っており、活動指標を達成していることから、企業のニーズに沿った事業が実施できている。		・支援件数について近年増加傾向にあり、支援した企業からは従業員の健康づくりを推進する社内環境が大きく改善した等の評価も得ており、企業のニーズを的確に踏まえた事業実施ができています。 ・一方で、チャレンジ企業数に対して支援した事業所数が少ないため、更なる活用に向けた改善が必要。 ・自身の健康に無関心になりがちな働き盛り世代の生活習慣病等を予防し、健康づくりへの取り組みを促進、支援するためには、自身の健康状態をチェックし、気軽に運動できる環境整備が有効であることから、引き続き企業等の健康づくり環境整備に対して支援が必要。		
	○効率性(最小のコストで最大の効果) ・業務改革に取り組んでいるか ・コスト削減の工夫を行っているか ・ICTや民間活力は活用しているか ・受益者負担は適正か ・財源確保の工夫は行っているか など		県:事業者=1:1の負担割合であり、事業者にも負担が発生していることから、適正なコスト設定による支援制度となっている。				
評価	課題・今後の方向性						
	<input checked="" type="checkbox"/> 改善 <input type="checkbox"/> 他事業と統合 <input type="checkbox"/> その他 説明 ( 民間企業と連携した新たな支援メニューを検討するなど、官民連携を主体とした健康づくり支援に改善 )						
外部委員会意見	・ 今後はハード面の支援から健康教室や研修会の開催など、ソフト面に対する支援に切り替えていくべき。 ・ 今後の支援の検討にあたっては、企業内の健康づくりをサポートしている事業者との連携など民間活力の活用も検討されたい。 ・ 自治体の事業である以上は公共性が不可欠である。今健康な人をより健康にするものではなく、今健康でない人が健康になる視点でも取り組んだ方がよい。 ・ アウトカム指標について、最終的には企業の中の人がいかに健康になったかを測れるように、事業の改善の方向性が具体化した段階で検討されたい。また、必要に応じて中間アウトカムを設定すべき。						
	改善結果						
・ ハード面への支援から、企業が主催する従業員向けの健康づくりに関する研修会等への講師派遣に支援内容を変更 ・ 支援対象を新規に研修会を開催する企業に絞るとともに、支援回数の上限を設けることで、これから従業員の健康づくりに力をいれる企業を重点的にサポート ・ 研修受講後にアンケート調査を行うこととし、その結果を分析した上で、事業の効果を測定するためのアウトカム指標の設定を検討							